

MSD004-13

会場:301A

時間:5月27日 17:30-17:45

小型衛星地上実験用 CP-SAR 搭載 UAV の開発 Development of CP-SAR UAV for Microsatellite ground test

スリスマンティヨ ヨサファットテトコ^{1*}

Josaphat Tetuko Sri Sumantyo^{1*}

¹ 千葉大学 CEReS

¹CEReS, Chiba University

合成開口レーダ (SAR) センサは全天候型センサで、夜昼によらずに運用できる多目的マイクロ波センサである。国内外で様々な直線偏波の SAR センサが既に開発されてきた。この直線偏波 SAR では限られた情報しか得られず、プラットフォーム (人工衛星、航空機、無人航空機など) の姿勢や電離層におけるファラデー回転などの影響を受ける。また、現存のもの多くは大型、大電力、高価、大型衛星搭載などの短所をもつ。このような背景のもと、本研究では円偏波合成開口レーダ搭載無人航空機 (CP-SAR UAV) を開発している。本発表では、この CP-SAR と無人航空機システムを紹介する。



キーワード: 小型衛星, 合成開口レーダ, 無人航空機 (UAV)

Keywords: microsatellite, synthetic aperture radar, unmanned aerial vehicle (UAV)